

## Part 8

### その他の代表的土壌

これまで火山灰土を中心に説明してきましたので、ここでは北海道に分布するその他の代表的土壌について説明します。以下のような土壌を挙げるができます。

- ・ 火山放出物未熟土
- ・ ポドソル土（猿払）
- ・ 暗赤色土
- ・ 褐色森林土
- ・ 低地土（沖積土 褐色・灰色・グライ）
- ・ 泥炭土

以下、農地として重要な台地土、低地土、泥炭土について説明します。

#### 台地・丘陵土壌の特性

- ・ 十勝管内の灰色台地土はほとんど本別町、足寄町、陸別町に分布し、表層に薄く新期火山灰が載っている。土壌酸性と堅密度が問題となる。
- ・ 褐色森林土は更別町、大樹町、本別町、足寄町、陸別町の火山灰層が薄くなった山地、丘陵地・段丘地に分布している。

#### 低地土の特性

- ・ 低地土は現河川の沖積土で酸性は弱く、養分に富み、一般に肥沃な生産性の高い土壌である。
- ・ 台地や段丘上の小河川流域では火山灰を混入し、排水不良地もある。礫が問題になることも多い。
- ・ 褐色低地土が約8割を占め、畑地が多く一般に生産性が高く、粗粒質と中粒質が半々である。
- ・ 灰色低地土とグライ低地土は大河川に注ぐ小河川や河川下流域に分布し、(旧)水田・草地が多い。灰色低地土は中粒質が5割・粗粒質が3割。グライ低地土はほとんどが中粒質である。

## 泥炭土の特性

- ・ 十勝川下流域に分布し、ヨシ、ハンノキなど低位泥炭主体で分解不良のものが多い。
- ・ 酸性、過湿などが問題となる。
- ・ 普通畑には適していないので、草地として利用されている。